

にほんごサークル

— 越谷国際交流サークル —



Q: いつ、だれが、つくったのでしょうか？

A: もうずいぶん前になります。1997年につくられたんです。
「外国から日本に来た人たちと交流したい。また日本語も教えてみたい」という人たちが自主的につくったのです。

Q: では、越谷市役所とは関係ないのですか？

A: いいえ、そんなことはありません。

越谷市役所は、1990年になった頃から「市内に外国から来た人たちが増えて来たな。その人たちは日本語がわからず、生活するうえでいろいろと困っているのではないかな。なんとかしなくてはいけない」と考えたのです。そして、「ボランティアで日本語を教えよう」という人たちを育てるための「市民講座」を開いたのです。

その講座で学んで、教え方を身に着けた人たちが集まって、この「にほんごサークル」をつくって、外国から来た人たちに日本語を教えはじめたのです。

また、その方たちと文化的な交流を図る活動も始めました。同じ地域に住む者同士、相互の理解を深めたいと思ったからです。



Q: これまでにどんなことをやってきたのですか？

A: 1997年から2007年ぐらいまでは、外国の方に教えるほかに、自分たちの教える力を伸ばすこともさかんにやりました。

たとえば他の日本語教室に行って、どんなふうに教えているのかを見学しました。それから自分たちで学習会をやって日本語のわかりやすい教え方も勉強しました。

あと、外国から来た人たちに「日本語教室というのがあって、そこで日本語が学べるんですよ」ということを宣伝するために、市民祭りにも積極的に参加しました。

こうした私たちの努力が認められて、市内の小学校から頼まれて子供たちに国際交流について話をしたこともあります。

Q：これまでにどれくらいの人たちが、この教室で学んだのでしょうか？

A：300人以上になります。いろいろな国の人たちが学びに来てくれましたけど、多いのは、中国の人たち、フィリピンの人たち、それから韓国の人たちです。そうですね、30か国以上の人たちが来てくれました。

こうした私たちの活動が認められて、2007年に県から「彩の国 国際貢献賞」というのをもらいました。それから、2017年には「さいたまテレビ」が取材に来ましたし、市長さんも私たちの活動の様子を見に来て、「これからも越谷市のためにがんばってください」と励ましてくれました。



Q：この教室に小さい子供を連れて来られるのでしょうか？

A：はい。連れて来られます。小さい子供がいるお母さんたちも安心して学べるように私たちの教室は、保育団体のチャオさんに協力してもらって、子供たちの面倒をみてくれる保育さんに来てもらっています。一家族100円かかりますけどね。子供が二人いても、3人いても100円ですよ。



Q：日本語学習にはどれくらいお金がかかるのでしょうか？

A：1回につき100円かかります。月4回来れば400円になります。

1回につき100円というお金の中には市の公民館の使用料と教材費が入っています。ただ、初級の人たちには、この他に教材テキストを買ってもらうことになります。ただどそんなに高いものではありません。

だから、お金のことはそんなに心配しないで、ぜひ日本語を学びに来てください。

私たちの願いは、外国から日本に来た方たちが、日本でのからしに早くなれて私たちと同じ社会の一員として活躍してほしいということです。

